

明日を担う子どもたちのために

5月18日 市教育委員会に相澤温氏就任

市教育委員会委員として、相澤温氏(古奈)が選任され、望月市長から選任書が手渡されました。

小学校PTA会長や青少年育成会長も歴任している相澤委員は「教育委員として積極的に発言し、明日の伊豆の国市を担う子ども達のために力添えをしたい」と、抱負を語りました。

その後、教育委員会5月臨時会で、教育委員長に大川治彦氏、同職務代理者に上田恵美子氏が就任しました。



河川清掃で浸水被害軽減に貢献

6月1日 中区、河川協会会長表彰を受賞

長年にわたり河川美化や河川愛護に従事した功績が認められ、中区が河川協会会長賞を受賞しました。

同区は年2回、有志により葦山古川、皆沢川、山田川の草刈りや清掃を実施。3河川は葦山地区を横断する主要な河川であり、豪雨時には浸水被害を受けることも少なくありません。河川の草刈りや清掃を行うことで水の流れを滑らかにし、浸水被害の軽減に多大な貢献をしていると評価されての受賞となりました。



夜の反射炉に歌声響く

6月2日 反射炉ホタルコンサート開催

世界遺産登録を目指す葦山反射炉で、この時期恒例となるホタルコンサートを行いました。

今年は、市音頭保存会による踊りの披露や和太鼓、尺八の演奏、子どもたちによる合唱などが行われ会場は大盛況でした。

また、コンサート終了後には、多くの人が反射炉横を流れる古川護岸に舞うホタルを観賞し、暗闇に舞う黄金の光に感嘆のため息を漏らしていました。



年に一度の機会 市長と交流

6月4日 市政懇談会開催中

市長が自ら市政を報告する市政懇談会が、古奈公民館を皮切りに始まりました。

市長は、主に市総合計画や観光対策、福祉計画などについて説明。市民からは、東海地震による津波対策を心配する声や、地域が抱えている問題について意見や要望が挙げられました。

市政懇談会は、市内18カ所をおよそ2カ月かけ7月23日(月)まで行います。

☎ 政策企画課 ☎ 055-948-1413



いつまでも若々しく

5月11日～14日 西日本古希軟式野球大会

満70歳以上が出場する古希軟式野球大会の西日本大会が、葦山運動公園野球場やさつきヶ丘公園野球場など当市と伊豆市の球場で行われました。

地元を中心に構成された静岡クラブには、当市から5人の選手が出場。ベスト8まで勝ち進む健闘をみせました。

選手たちの年齢を感じさせない若々しいプレーに、会場は大いに盛り上がりました。



響け歌声、坦庵追憶の地に

5月13日 歴史探訪・坦庵フェア in お台場

世界文化遺産登録を目指す葦山反射炉のPRイベントとして東京都港区のお台場で『歴史探訪・坦庵フェア in お台場』を開催しました。

坦庵は、江戸の海防拠点としてお台場(砲台)整備の必要性を提唱したことで知られており、坦庵追憶の地に総勢300人の市民コーラスが響き渡りました。

そのほか坦庵の功績などを紹介し、葦山反射炉の魅力を発信しました。



動物の命の大切さを知って

5月17日 大仁北小学校動物愛護教室

大仁北小学校の3・4年生83人を対象に、県動物保護協会主催の動物愛護教室が行われました。

子どもたちは、田方獣医師や動物ボランティアから『動物の命の大切さ』などを学んだ後、実際に犬と触れ合いながら、学んだばかりの『犬との安全な接し方』について体験しました。

同獣医師会では、不幸になる可能性のある子犬・子猫のため『里親さがし』を開催します。詳細は21ページ



アユ解禁前に、カヌーで狩野川清掃

5月17日 市社会教育委員ら有志による奉仕活動

市社会教育委員(渡辺公人委員長)らによるカヌーを使用した狩野川奉仕清掃を実施。14人が参加し、約14袋分のごみを回収しました。

大門橋から狩野川さくら公園までの約4kmの区間を、川岸や中州に打ち上げられたビニール袋や空き缶などを拾い集めました。同活動は、アユ釣り解禁前に毎年行っており、今後も継続したいと渡辺委員長は話していました。

